

サプライチェーン・マネジメント

大量かつ多数の種類資材を使用し、すそ野の広い住宅産業は、サプライチェーンに対して少なからぬ影響力を持っています。特に、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」にも見られるように、企業の環境・社会課題の解決に対して及ぼし得る影響を、サプライチェーンまで含んでいかに最大化できるかは、「責任」を超えて長期的な企業価値を拡大するためのよりポジティブな「戦略」と位置付けています。同時に、サプライチェーンを育て、共存するための取り組みも重要な柱と考えています。

サプライチェーン・マネジメントの二つの側面

資材調達側の側面

1棟の住宅の構成部材は数万点におよび、多数のメーカーの製品を使用します。そのために、積水ハウスグループでは管理の一貫性やスケールメリットに配慮し、原則として本社で一括購買を実施し、マネジメントを行っています。

※ 本ページではこの側面を中心に説明

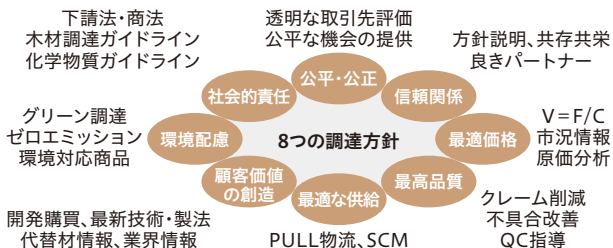
施工の側面

当社では代理店方式を取らずに「直接販売・責任施工」体制を築いています。工程ごとに複数の専門業者が施工にかかわるため、当社の一貫した管理のもと、各地域で連携して、施工品質の向上に取り組んでいます。

※ 詳細はCSV戦略③参照

調達方針

当社では「企業理念」「企業行動指針」に基づく調達活動を遂行するために、2007年から「最高品質」「最適価格」「最適な供給」「環境配慮」を中心とした「8つの調達方針」を掲げ、遵守・推進しています。



また、持続可能性評価が細部にわたる「木材調達」「化学物質管理」については、これに加えて独自のガイドラインを設け、該当サプライヤー対象の進捗管理を行っています。

「取引先評価」の実施と改善

サプライヤー各社の会社方針と当社グループの調達方針との整合性を図り、相互理解を深めるために、主要な取引先約150社参加のもと、毎年「方針説明会」を開催しています。最新の経営計画や調達方針、商品戦略などを説明し、取引先の活動指針となる情報を共有し、優良企業に対しては顕彰を行うとともに、事例発表をしてもらい、刺激し合える場を提供しています。

また、公平・公正な取引継続に向けて、調達方針に基づく「取引先評価」を実施し、改善に役立つように各社に結果を開示しています。同時に、安定した経営体質があって初めて高いレベルでの調達方針の実践が成り立つと考え、主要取引先には「工場訪問」と「QC(品質管理体制)診断」を継続的に実施しています。

CSR調達の推進

事業を通じて社会課題を解決し、企業価値を向上させるというCSVのコンセプトのもとで、社会から本当に必要とされる企業として持続的成長を図るために、CSR調達を推進し、サプライチェーン全体に波及させることを進めています。

これは、住宅が多くのサプライヤーによって供給される多数の部材を使って成立する製品であることから、CSRについての配慮は当社だけの問題にとどまらず、一社の問題がすべての取引先に影響を与え、企業価値低下につながりかねないテーマであることをサプライヤーとより率直に共有していくための仕組みです。

CSR調達基準 (調達方針に加え2015年10月制定)

社会的責任	
人権・労働	人権尊重、差別撤廃、児童労働の禁止、強制労働の禁止、賃金、労働時間、社員との対話・協議、安全・健康な労働環境、人材育成
コンプライアンス	法令の遵守、競争法の遵守、腐敗防止、機密情報の管理・保護、輸出入取引管理、知的財産の保護
社会貢献	地域・コミュニティへの貢献
環境配慮	
環境	環境マネジメント、温室効果ガスの排出削減、化学物質管理、大気・水・土壌等の環境汚染防止、省資源・廃棄物削減、「フェアウッド」の利用促進
最適な供給	
リスクマネジメント	リスク管理の仕組み、事業継続計画の策定